

アル・アクサ洪水第678日目：「包括的合意」に関する協議が再開される中、抵抗勢力が新たな作戦を明らかにした。

Palestine Chronicle、2025年8月13日、脇浜義明訳



イスラエルは飢餓をガザでのパレスチナ人に対する戦争の武器として使用し続けている。(Photo: SOCIAL MEDIA, via QNN)

主要事項

＊報道によれば、イスラエルは、戦争終結と人質全員解放のための包括的合意を目指す交渉を再開する努力の一環として、上級レベルの代表団を今週後半にドーハに送ることを検討しているという。

＊アル・クッズ旅団の野戦指揮官は、この数日間のガザ東部の地雷敷設地帯からイスラエル軍が部分的撤退をした後、敷設地帯に約52台のイスラエル軍車両の残骸など、旅団がイスラエル軍に与えた損害について報告した。

＊ガザのパレスチナ保健省によれば、2023年10月7日からのイスラエル軍の攻撃の犠牲者は、死者61,722人、負傷者154,525人になった。その多くは女性と子どもである。

最新情報

8月13日 11:44 pm (パレスチナ時間)

＊アル・ジャジーラ：ポルトガル議会の左翼連合の代表はアル・ジャジーラに対して、ポルトガル政府はイスラエル船舶のポルトガル領海通過を許可しないと述べた。彼女は、ポルトガル政府が、罪のない人々への暴力を繰り返すイスラエルに制裁を課し、国際法廷へイスラエル訴追する動きに加わることを期待していると言った。

＊アル・カッサム旅団：旅団は、ハーン・ユニス中部のアブ・ハミド交差点付近で、イスラエル軍戦車2台を「ヤシン105」砲弾2発と爆発装置を使って攻撃したと発表した。

＊パレスチナ・メディア：アッシーファ病院の院長は、ガザのどの病院にも怪我人や病人を治療する医薬品も医療機器もないと言った。彼は、感染すれば死または手足の切断を招くバクテリアの出現、弛緩性麻痺とそれに伴う死亡の増加、暑さ、水不足、衛生用品の不足による皮膚病の蔓延を警告した。

＊ハマス声明：ハマスは、国際社会に対し、ネタニヤフ首相の占領計画宣言を非難し、彼のガザ侵攻を止め、彼の戦争拡大は国際的安定を脅かすものとして防ぐように呼びかけた。

8月13日 10:34 pm

＊パレスチナ・メディア：病院筋の報告によると、今日夜明けからのイスラエル軍の攻撃で、98人が死亡した。そのうち61人はガザ市の犠牲者である。また、ガザの救急隊によると、ガザ回廊北部で救援物資を待っている人々に対するイスラエル軍の発砲で、14人が死亡し、113人が負傷した。

8月13日 9:29 pm

＊ハマス声明：パレスチナ抵抗運動ハマスは、「わが民族と世界の自由を愛する人民に対し、ガザにおける侵略、ジェノサイド、飢餓に抗議する大衆運動の継続と拡大を要請する」声明を出した。ハマスは、侵略が終わり封鎖が解ける日まで、金曜日、土曜日、日曜日を「占領と占領支持者に対する怒りのグローバル行進の日にしよう」と呼びかけた。また、声明は故アナス・アッシャリフ記者、故モハンマド・クレイカ記者、その同僚たちへの大衆的連帯と、イスラエル占領軍による報道機関弾圧という犯罪行為への非難を表明する広範なイベントの開催を呼びかけた。ハマスは、「シオニストの侵略と米国の支援」を非難し、「国際的沈黙」を拒否するために、グローバルな大衆運動の拡大の必要性を強く訴えた。最後に、ハマスは、市民、学生、労働組合がイスラエルに国境通路を開いて医薬品、水、食料のガザ搬入を許可する圧力を強化することを求めた。

8月13日 9:26 pm

＊ハアレツ：エヤル・ザミール参謀総長は、自分がガザ占領・統治計画に反対したので、ネタニヤフ首相は自分を解任したがつていと述べている。また、参謀総長は、自分がガザ侵攻に反対しているために、ネタニヤフ首相とその一派は自分を常に攻撃しているとも述べた。彼は、軍も現状をきちんと認識しており、軍をネタニヤフ首相とカッツ国防大臣の手に委ねたくないと言った。

8月13日 9:22 pm

＊レバノン保健省声明：南部の町ハダサで走行中の自動車をイスラエルの無人機が攻撃し、市民が一人死亡した。

8月13日 7:28 pm

＊パレスチナ・クロニクル：ガザ保健省によれば、今日イスラエル軍のガザ回廊各地への攻撃で少なくとも55人が死亡した。その中には援助物資を待っているときに殺害された一家7人と他数十人が含まれる。保健省は、2025年10月7日以降の死者は61,722人、負傷者は154,525人となったと発表した。

＊WHO 事務局長：ガザでは14,800人以上の患者が治療を必要としているが、治療を受けることができない。

8月13日 7:00 pm

＊パレスチナ・クロニクル：ヒンド・ラジャブ財団 (HRF) とパレスチナ人権センター (PCHR) は、数日前にパレスチナ人ジャーナリストのアナス・アッシャリフとその同僚たちをイスラエルが殺害した事件に関し、国際刑事裁判所に共同提訴した。

8月13日 6:18 pm

＊パレスチナ・メディア：ガザの病院関係者は、本日未明からイスラエルの攻撃でパレスチナ人81人が死亡したと報告した。そのうち45人はガザ市での被害者である。

＊パレスチナ・メディア：病院筋の報告によると、今朝からのガザ市北部で負傷者などの救助活動を行う人々へのイスラエル軍の空爆で、12人が死亡した。

＊アル・クッズ旅団：7月11日、アル・クッズ旅団はアル・カッサム旅団と連携して、ハーン・ユニス北部に集結していたイスラエル兵と車両を迫撃砲で攻撃したと発表した。

＊パレスチナ・メディア：病院筋の報告では、今日夜明けからのイスラエルの攻撃で65人が死亡し、そのうち25人は援助物資を待っているときに殺害された人々である。

*国境なき医師団：ガザの国境なき医師団の看護活動の看護士長はアル・ジャジーラに対して、ガザに入った医療支援物資は必要を満たす量より圧倒的に少ないと言った。

8月13日 2:27 pm

*アッシーファ病院：アッシーファ病院長はアル・ジャジーラに対し、ガザの医療システムは完全崩壊し、病院は患者を治療できないと語った。ポリオの蔓延で子どもの命が危険にさらされているし、清潔な水がないために腸管感染症が増加している。さらに院長は、栄養失調の妊婦が55,000人もおり、心臓病患者向けの医療物資がなく、国際機関の医療物資を積んだトラックがガザ国境の外で立往生していると語った。

*ナセル総合病院：ポリオ蔓延のためにハーン・ユニスで子どもが死亡した。

*ブリュッセル航空：イスラエル行き便への抗議として手荷物取り扱いを拒否されているので、ボランティアの搭乗員を載せてテルアビブ行き便が出発した。

*パレスチナ・メディア：病院筋の報告によると、今日夜明けからのイスラエル軍の攻撃で55人が死亡し、そのうち33人がガザ市の死亡者。また、救援物資を待っているときに殺害された人は22人である。

8月13日 1:24 pm

*ガザ保健省：この24時間で死者123人、負傷者437人が病院へ担ぎ込まれた。これで2023年10月7日からの犠牲者の数は、死者61,722人、負傷者154,525人となった。この24時間で飢餓と栄養失調が原因で死亡した人は、子ども3人を含む8人である。

*パレスチナ・メディア：病院筋の報告によると、今日明け方からのイスラエルの攻撃で39人が死亡、そのうち救援物資を待っているときに殺害された人は19人であった。

8月13日 12:14 pm

*パレスチナ・クロニクル：スウェーデンの戦争犯罪対策部は、2023年以降ガザから700件以上の戦争犯罪例を受け取っており、スウェーデン国内、外国、あるいは国際刑事裁判所で訴訟できる件の選定調査を開始した。

8月13日 11:32 am

*パレスチナ・クロニクル：アンサールッラーは、ガザ・ジェノサイドへの報復と宣言して、イスラエル内の4か所（ハイファ、エイラート、ベエル・シェヴァ、ネゲブの拠点）へのドローン攻撃を実施し、イスラエルがガザ封鎖を解除するまで攻撃を続けると誓った。

8月13日 10:58 am

*パレスチナ・メディア：ナセル総合病院の報告によると、ラファの援助物資配給センター近くで援助物資を求める人々へのイスラエル占領軍の発砲で、数人のパレスチナ人が死傷した。

*パレスチナ・メディア：病院筋の報告では、今朝からのイスラエル軍の攻撃で24人のパレスチナ人が死亡した。その後、アル・アウダ病院の報告では、ガザ回廊中部で援助物資を待つ人々へのイスラエル軍の攻撃で、5人が死亡し、10人が負傷した。

*パレスチナ・メディア：バブティスト病院の報告によると、今朝ガザ市南東のアッザイトゥーン地区の一軒の住宅への攻撃で、12人のパレスチナ人が死亡した。

*パレスチナ赤三日月社：今日明け方、ガザ市南の避難民テントへのイスラエル軍の攻撃で子ども5人を含む7人が死亡した。

*ガーディアン紙：占領地パレスチナのWHO代表部は、ガザで備蓄していた医薬品の半分以上がなくなったが、飢えと栄養失調がガザに蔓延、ガザの健康状態は破局的になったと述べた。

*医学誌ランセット：ガザのアル・アハリ病院で採取された1,300以上の検体を研究した結果、薬剤耐性バクテリアが発達しており、すでに医薬品がなくて深刻な状態にいる人々にとってさらなる脅威となっている。

*スウェーデン・メディア：イスラエルのガザ侵攻開始以来700件以上の戦争犯罪に関する告訴が警察に寄せられており、検察は捜査を開始した。

8月13日 3:31 am

*ハマス声明：パレスチナ抵抗運動ハマスの指導者ターヘル・アンヌールは、ハマス代表団がカイロで仲介者エジプトと予備会談を始めたと発表した。今日の会談では戦争終結と援助物資のガザ搬入が中心議題となるだろう。また、パレスチナ内部関係問題も取り上げ、民族統一方法も討議される。アンヌールはガザ・エジプト国境に関する二国間関係も協議し、エジプトとの関係が「安定し強固で、共同の取り組みは止まっていない」と強調した。

8月13日 3:29am

*アル・ジャジーラ（スウェーデン・メディアを引用）：イスラエルがガザ侵攻を開始して以降700件以上の戦争犯罪報告が警察に寄せられた。市民団体や国民が提出したこれらの戦争犯罪報告を検察当局が調査し始めた。

8月13日 3:27am

*ランセット：ガザのアル・アハリ病院で採取した13,000以上の検体を研究して、ランセットは次のような結果を発表した。「ガザは抗生物質耐性疾患の蔓延という新たな脅威に直面している。薬剤耐性菌の蔓延は深刻な病気の発生と感染症の急速な拡大を意味する。そのうえガザには医療物資がほとんどない。しかも日々の攻撃で数万人が負傷し、多くの人が栄養失調で衰弱している。」

8月13日 12:44am

*アル・ジャジーラ：イスラエル占領軍は、ハーン・ユーニスの中部と東部の住宅を空爆すると同時に、ブービートラップ仕掛けのロボットを爆破させた。

*カン：エヤル・ザミール参謀総長は、自分と元外相のガビ・アシュケナージと予備役少将のイスラエル・ジヴ、元イスラエル軍報道官のアヴィ・ベナヤフから構成される危機相談室を設置した。彼ら全員が戦争継続に反対する人物である。ザミール参謀総長は、兵役拒否の波が広がる中、前例のない困難に直面しており、この兵役拒否現象の拡大を防ごうと、ガザ回廊で闘っている地上部隊への視察を強化した。

*パレスチナ・クロニクル：*アル・クッズ旅団の野戦指揮官は、この数日間のガザ東部の地雷敷設地帯からイスラエル軍が部分的撤退をした後、敷設地帯に約52台のイスラエル軍車両の残骸など、旅団がイスラエル軍に与えた損害について報告した。

8月12日 11:50pm

*パレスチナ・クロニクル：ネタニヤフのガザ市占領計画の前にはガザ回廊全体を占領する計画があった。彼がガザ回廊全体占領計画を放棄したのはエヤル・ザミール参謀総長の反対のためであった。ムニール・シャフィクの小論を読まれたい。[\(Munir Shafiq, "Why Did Netanyahu Suddenly Back Down from a Full Occupation of Gaza?" Palestine Chronicle, August 12, 2025\)](#)

8月12日 11:36pm

*パレスチナ・クロニクル：イスラエル人調査ジャーナリストのユヴァル・アブラハムによると、イスラエル軍情報機関は、ジャーナリスト殺害を含む軍のガザでの行動を正当化する使命の特殊部隊を設立した。

8月12日 11:08pm

*アンサールッラー軍事部門報道官：我々はハイファ、ネゲブ砂漠、ウンム・アッラシュラッシュ、ベエル・シェヴァの「イスラエルの拠点」を叩く攻撃に成功した。この4つのパレスチナ占領地（イスラエル）の重要拠点の攻撃はガザ連帯の表明である。

*米務省：米国はイスラエルにガザで何をなすべきか、誰をガザに入れるか入れないかを指図する気はない。

*英国メディア：英国の国連次席常駐代表代理は、ガザにおけるジャーナリスト攻撃に深い懸念を表明し、包括的な独立調査を求めた。彼女はジャーナリストを殺害標的にすることはあってはならないことだと強く言った。

*アル・ジャジーラ：ヒンド・ラジャブ財団の理事長はアル・ジャジーラに対して、国際刑事裁判所はイスラエル政府のジャーナリスト殺害承認を無視してはならず、イスラエル軍指導者らに刑事責任を負わせるべきだと語った。